

令和4年 2月20日 自己評価・外部評価・グループホームみどりの風

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は職員と共に作り、実践に向けて、日々取り組んでいる。毎朝、ミーティングにて理念を復唱している。理念の意味を考えながらケアを行うようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の自治会公民館5箇所から委託を受け地域の広場事業での交流を図っていたがコロナ禍により、現在書面等のやり取りしかない状態である。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、書面開催しか実施出来ず、意見交換の場をつくることが出来なかった。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、書面開催しか実施出来ず、意見交換の場をつくることが出来なかった。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束の勉強会を行い、身体拘束の禁止となる事例を学び、身体拘束をしない介護を実践している。しかし、現在歩き回りが頻回な利用者があり、見守りが十分に行えない場合には玄関の施錠を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修・勉強会等の機会を持ち続け、理解を深め、取り組んで欲しいと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の勉強会を行い、職員の意識統一を図っている。ミーティングや日々の業務の中で指導を行っている。言葉の声かけにも注意し自尊心を傷つけないように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修・勉強会等の機会を持ち続け、理解を深め、取り組んでほしいと思います。

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を活用している人はいないが、関連事業所で成年後見制度の対象者がいるため、活用方法を学んでいる。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用前に重要事項説明を渡し、項目に沿って、説明をさせてもらっている。疑問点等、その都度、説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の声や苦情は、真摯に聴くようにしている。運営推進会議の委員の方に、報告させてもらっている。又、職員には朝礼や職員会議にて報告を行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の開催がない中、報告の方法・頻度はどうなっていますか。その記録もきちんと取っておく必要があると思います。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は、日々の業務の中やミーティングを通じて職員の意見や提案を聞き、改善できるように努めている。代表者へは定期的に施設での状況は、毎週運営者にも報告している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人が掲げている目標を確認し、職員の能力に応じた助言を行うようにしている。人事考課の評価に応じて昇給もある。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の経験・能力に応じて研修・勉強会等への参加ができる職場環境を望みます。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の研修会や内部の研修会を通じて、資質向上を図る機会を設けている。外部の研修も各職員が参加出来るように配慮している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人に学ぶ機会確保される事を望みます。
13	同業者との交流を通じた 向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為あまり実施する事が出来ない。オンラインでの研修等には参加している。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り利用者本人と話を し、相手の思いや不安を聞くよう に職員一同心がけている。また 話しやすいように居室で話を聞い たりする。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会制限などや 外出を控えるなど実施できていな い。	コロナ禍でもできる取り組みを考えてい く必要があると思います。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人から利用者様の 思いを拾っている。ご家族からも 情報を得ながら本人の思いの代 弁をしてもらいケアに活かしてい る。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計画書作成は利用前に家族か ら情報収集を行い、その後は職 員から情報収集を行い、計画書 を作成している。また、サービス 担当者会議等を通して、家族との 情報交換を行っている。(現在は 電話連絡にて対応)		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議参加メンバーだけでなく、 関わる職員全員が内容を理解・共有す る事が大切だと思います。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録は、午前・午後・夜間と分 け、時間帯ごとに記録を記入して いる。日々の様子の記録は介護 計画に活かしている。現在タブレ ットでの入力も取り入れ、情報の 確認が容易にできるようになって いる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の記録は大変だと思いますが、記 録を通して振り返りができ、気づきや新 たな発見があると思います。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況に応じて、サービ ス内容を変更し柔軟に対応して いる。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内での役割獲得の支援など、本人の残存機能を生かした取り組みは行っているが、コロナ禍の為、施設外での取り組みは出来ていない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医との関係を大切にし、かかりつけ医と定期的に情報交換に努めている。又、変化がある時はその都度、受診や往診等、対応していただいている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際は、医療機関に訪問したり、電話でご家族に病状を確認している。入院前に主治医や家族と退院の可能性を検討し、退院後の受け入れが出来るように調整している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も医療機関との連携に努めて欲しいです。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期のケアについては、ご家族及びかかりつけ医を交えて話し合いを行っている。現在、看取りを行っていない為、事業所でケアできる限界の話も行い、入院調整等も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事前に話し合いの場を持っている事が望ましいと思います。今後も取り組みを続けてほしいです。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	過去の事故事例等からのリスクマネジメント研修や、マニュアル、ミーティング等にて共有を図っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震の避難訓練は、夜間想定・日中想定として年2回行っている。コロナ感染対応とうについても職員へアンケート等を実施し、マニュアルに反映している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『みどりの風だより』に避難訓練の様子が載っており、わかりやすいと思います。参加者の感想が載っていたらいいなと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会を実施し接遇の向上を図っている。利用者は個々の尊厳を大切にした言葉掛けや対応を行っている。馴れ合いの関係になりすぎて、言葉が崩れないように注意をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアを行う職員側に余裕がないと言葉の崩れや雑さが出てしまうと思います。職員へのヘルスケア・勤務体系等にも注意してほしいと思います。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースは大切にしている。行事等の予定が入っている時は事前に説明し、了解していただく。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の食材を取り入れて旬を感じる献立を立てている。お箸配り、配膳・下膳・お茶碗洗い等、利用者の力を活かしながら、一緒にできる方は行っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『みどりの風だより』に食事の風景の記載がありました。利用者の力を活かしながらの取り組みを続けてほしいです。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量を記録に残し、食事量が少ない時は栄養補助食品等を出している。水分は一日 1500CCの摂取目標に水分を摂取してもらうようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。自力で出来ない利用者には、職員が必要に応じ支援している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な歯科受診はされているのでしょうか。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレで出来る方はなるべくトイレでの排泄できるよう支援している。紙オムツやパットも個々の状態に応じたものを使用している。オムツを使用している方には排尿状態に応じて、交換している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心に配慮し、利用者一人一人に合ったケアをお願いします。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は午前に入っていただくことが多いが、午後からの入浴にも対応している。入浴は個々の状態に応じて個浴でゆっくりと入れるようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼寝は自由にしてもらうようにしている。夜間は就寝時間は設けていない。眠れない方は、リビングにて、職員と会話を持っている。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤情報を基に利用者の薬の把握を行っている。薬の仕分けは職員が交代で、二人で確認しながら、薬剤情報を基に行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	確認を怠らず、間違いのないように注意してください。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	能力や生活歴を活かした役割、楽しみが出来るように個別の状況に応じた支援を行なっている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援がほとんど出来ておらず、施設内の庭や同敷地内の施設等への散歩などしか行えていない。感染対策を行い、選挙へ出向いた事はあった。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在預かり金等は行っておらず、必要な際にはご家族に連絡を行い、その都度支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望に沿って、職員が仲介に入り、家族への電話は自由に出来るようにしている。手紙を出したい方は切手を購入し、自由に手紙のやり取りが出来るようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部屋の入り口がわからない方には目印をつけている。季節感を感じていただくように、季節の草花を飾っている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の行事等の様子が『みどりの風だより』から伺えます。利用者の方々の年代や地域性等を考慮した行事の開催を検討してみてはどうですか？

Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員一人一人から利用者様の思いを拾っている。ご家族からも情報を得ながら本人の思いの代弁をしてもらいケアに活かしている。コロナ禍の為、様々な制限がある現状がある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用前に面談を通して、生活歴や本人のこだわり等聞くようにしている。利用前のサービス事業所からも情報収集を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタル測定や、定期往診、また体調の変化等での主治医への連絡、相談など日々行っている。また、タブレットの導入により、現在の健康状態や排泄の有無など容易に職員間で共有する事が出来るようになった。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	異常の早期発見・悪化予防に努めてもらいたいです。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時間や食事の提供等もご自分のペースで行ってもらっている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた物や写真の持ち込みをしてもらっている。また、ご家族にも出来るだけ馴染みの物入所の際など使用して頂けるよう声かけ行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の過ごしやすい環境作りに努めてもらいたいです。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は、散髪屋や買い物、催事等にも希望があれば外出していたが、現在はコロナ禍の為、実施出来ていない。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	分からなかったり、失敗しても、決して非難せず、利用者の方が失敗したことを恥ずかしくないようにフォローをしている。自信を失うようなことがないように配慮している。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、介護者という立場では なく、共に生活し、支えあう関係を 大切にしている。回想法を取り入 れ、利用者様の思いを聴くように している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することがで きている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出等の機会や 地域での行事の参加等も実施す る事ができず、交流が図れていな い。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることができ ている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本位をもつとうに、日々ケ アにあたっており、コロナ禍でも、 楽しく安全に過ごして頂けるよう に日々職員で話し合いを行って いる。しかし地域との交流がどう しても行えていない現状がる。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『みどりの風だより』等での利用者の様子だけで なく、職員の研修等の取り組みを家族・地域に伝 えていくのはどうでしょうか？家族の安心感や GH 理解につながるのではないかと思います。